

広報  
**なんたん**



Vol.42



【特集】

**市民提案型まちづくり活動支援交付金制度を創設**



**2010年**  
**8・9月号**



# 交付金制度を創設

を応援します～



南丹市では、市民の皆さんと行政が一体となったまちづくりを推進するため、市民参加と協働の仕組みをルー化した「南丹市市民参加と協働の推進に関する条例」を本年4月1日に施行しました。

この条例施行後、実際に市民参加と協働を進める施策の第一弾として創設したのが「市民提案型まちづくり活動支援交付金制度」です。

皆さんのまちづくりに対する思いやお考えを具体的な事業として提案・実施してみませんか。

## 広報 なんたん もくじ

- ② **【特集】 市民提案型まちづくり活動  
支援交付金制度を創設**
- ⑥ 地デジ対応に関するアンケート結果
- ⑦ インフォメーション  
・マイ箸・マイ茶碗づくりキャンペーン ほか
- ⑧ 行政トピックス  
・消防操法大会  
・男女共同参画フォーラム ほか
- ⑩ いきいき南丹
- ⑪ 人権の窓／環・境・市・民
- ⑫ 図書館へようこそ！／暮らしにホッと
- ⑬ ぶらりなんたん
- ⑭ みんなのひろば  
・南丹市美山和泉交差点観光交流広場  
オープン記念式典・オープニングイベント ほか
- ⑯ なんたんミュージアム／わが家のアイドル

### 今月の表紙（14ページ関連）

美山ゑびす屋オープニングイベント（橋面アートイベント）。ゑびす様の顔に口を描く黒田秋さん。黒田さんは「絵が消えてしまうのは残念だけど、みんなで一生懸命絵を描けて楽しかった」と話してくれました。



# 市民提案型まちづくり活動支援

## ～ 市民の皆さんの活動



### 市民提案型まちづくり活動 支援交付金制度とは

この制度は、将来にわたって市民の皆さんが誇りを持つことができる個性的で魅力ある地域社会を実現することを目的に創設しました。市民の皆さんが組織されている団体に提案・実施いただいた公益活動に対して交付金を交付し支援を行います。対象事業は、自由提案型事業と課題設定型事業の2つを用意しています。

### 交付金の交付対象となる団体は

この交付金の交付対象となる団体は、2人以上で自主的に組織され、市内で活動されている非営利団体で、構成員のうち半数以上が南丹市内に在住、在勤、在学の方で活動されている団体です。

### 自由提案型事業とは

自由提案型事業とは、市民団体などが自由なテーマで提案・実施される社会的または地域的な課題解決に関する事業のことをいいます。

原則、その年度内に完了する新規事業が対象となりますが、既存事業であっても、事業の質を高め、新たな展開を図るものは対象とします。このことは課題設定型

事業も同様です。

### 課題設定型事業とは

課題設定型事業とは、市が設定したテーマ（別表）に基づき、市民団体などが提案・実施される社会的または地域的な課題解決に関する事業のことをいいます。

### どんな経費が補助金の対象に

講師への謝礼、ポスター・チラシの作成費用、イベントなどで使用する施設の使用料や物品の賃借料、事務用品、材料の購入費などが交付金の交付対象経費です。

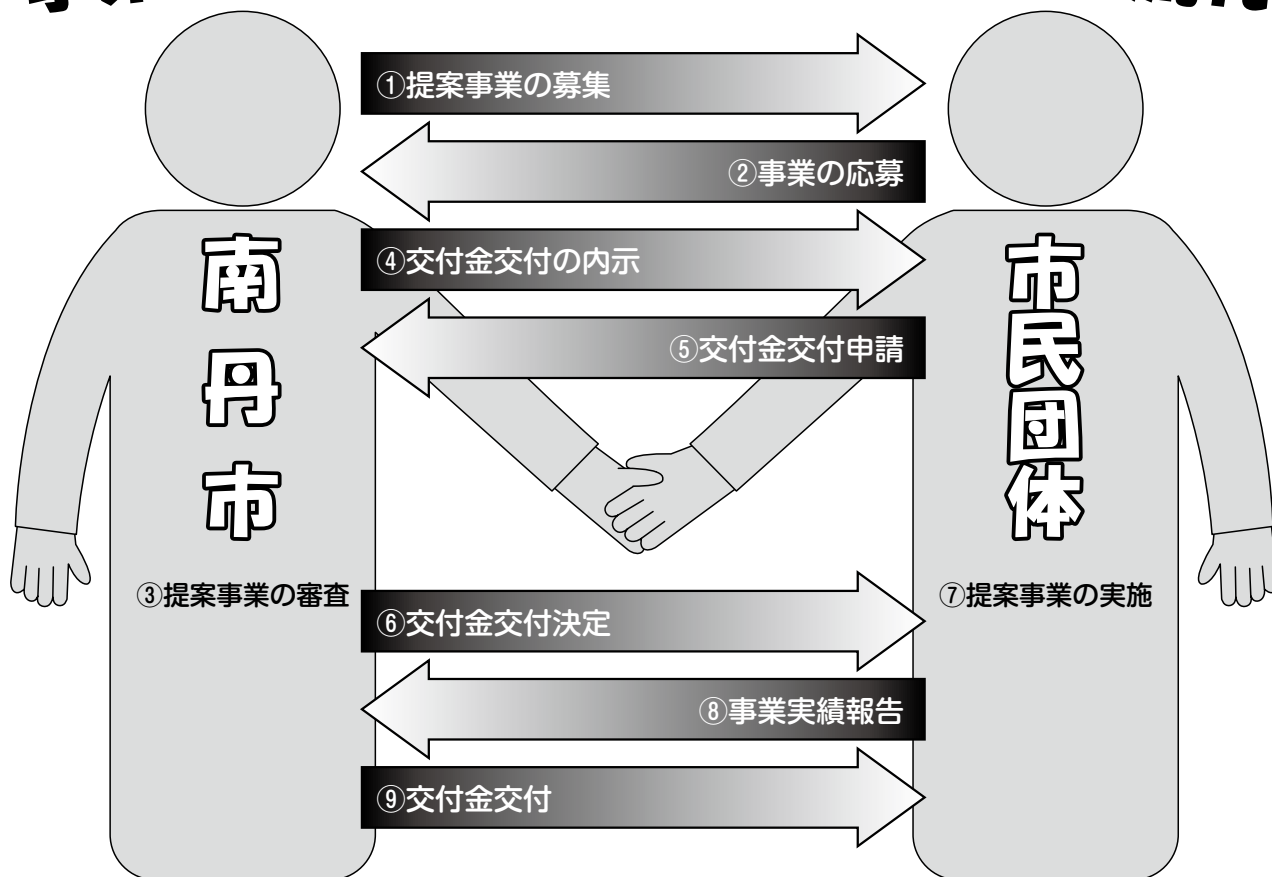
### 交付金の額は

自由提案型事業、課題設定型事業いずれの事業も補助率は、交付対象経費の10分の10以内です。交付金の限度額は、自由設定型事業が10万円、課題設定型事業が20万円です。

### このような事業は対象外です

団体構成員の親睦や趣味的な活動を目的とするもの、事業費の大部分を飲食費が占めるもの、営利、宗教、政治目的のもの、国や府などから補助金などの交付を受けているものなどはこの事業の対象となりません。

# 事業の提案から交付金交付までの流れ



## ☆平成22年度提案事業（主な提案内容）

区分	提案内容
自由 ①	地域の高齢者を集め、脳トレゲームや茶話会を行い、認知症予防とコミュニケーションを図る。
自由 ②	高齢者、障がい者などを対象としたパソコン教室の実施に向け、パソコン指導者を育成するための講座を開講する。
自由 ③	市内にサイクリングで訪れる人々のための休憩所を設置し、さらなる観光客の増加につなげる。
課題 ①	市内で実施の環境保全や環境教育の情報を集約しマップを作成。市民が参加しやすいよう情報発信を行う。
課題 ②	遊休地などを活用し、市民が日替わり店主となりカフェやバーを開ける仕組みを作り、まちににぎわいをもたらす。
課題 ③	幹線道路の美化作業を実施し、道端に花の植栽を行う。観光客や住民の心を和ませると同時に、景観の保全を図る。
課題 ④	大学などとの連携で空き家情報把握のためアンケートを実施。定住促進窓口の設置やIターン者との座談会を開催。
課題 ⑤	収穫祭などを実施し、四季を通して行う農作業体験、農村文化伝承の地域連携型のプログラムを試行する。
課題 ⑥	中山間地の特徴である深い山と川を生かしたマイクロ水力発電を市内で実現する可能性を探る。

※交付金の交付が決定した提案内容ではありません。

### 平成22年度分事業

平成22年度分事業について、お知らせなんです、南丹市ケーブルテレビを活用し、市民の皆さんに広くお伝えし、皆さんからの事業提案を8月20日まで募集しました。募集期間中は、多くの方から問い合わせがあり、最終的に20件の事業提案をいただきました。

市では、提案いただいた事業についてのヒアリング、審査委員会での審査をした上で、交付金交付の可否を判断します。

### 来年度に向けてご準備を!

この事業は来年度以降も継続して実施する予定です。すでに活動をされていて活動の内容を広げようとお考えの方、地域で何かできることがないか検討中の方など、今年度応募のあった左記の提案も参考にしながら、来年度に向けて準備を始めましょう。質問や相談は随時受け付けています。お気軽にご相談ください。

### 問い合わせ先 企画推進課

TEL 0771-6810003

## (別表) 課題設定型事業におけるテーマ

消費者被害の防止	悪徳商法などの被害に遭ってもだれにも相談できなかつたり、被害に気付かないこともあります。中には地域の方々の見守りにより防げる被害があります。そこで、消費者被害の防止に関する協働事業を提案ください。
中心市街地の再生	南丹市の「顔」でもある街なかを市民が憩い、楽しみ、経済と文化の中核をなす「中心市街地のにぎわい創出」に関する事業を提案ください。
南丹市のブランド価値の向上	南丹市の魅力と誇りの向上のため「南丹ならではのものやコト」を提案ください。
南丹市ふるさとの川クリーン運動	河川的环境保全・環境美化活動に関するアイデアを提案ください。
南丹市ふるさとの道クリーン運動	道路的环境保全・環境美化活動に関するアイデアを提案ください。
環境教育・環境活動情報のネットワーク化	個人、グループ、企業などさまざまな主体によって環境に関する教育や活動が行われています。それぞれの情報を一元化するネットワークの構築を提案ください。
不法投棄防止活動	市民、事業者、各種団体、行政が協働し、不法投棄の防止を図ることができる取り組みを提案ください。
ごみ減量、リサイクル・リユース活動	循環型社会の構築に向け、廃棄物対策だけでなく、皆さんの生活や事業の活動などと密接に連携した実践活動に関する協働事業を提案ください。
動物愛護	人と動物が共生するより良い社会づくりを目指した普及啓発活動を提案ください。
廃食用油回収拠点の設置	廃食用油を回収し、バイオディーゼル燃料や石鹼に再生することで、排水の汚染防止や二酸化炭素排出削減を図るため、廃食用油回収拠点づくりなどの事業を提案ください。
新エネルギー研究事業	今後の実用化が期待される身近な地域社会の中に利用できる新エネルギーの活用などを提案ください。
高齢者集落活性化対策①	高齢化比率の高い集落では、草刈りや除雪などの作業が困難になっています。広域的な連合などの仕組みを研究し、協働により具体的課題解決を図ることのできる取り組みを提案ください。
高齢者集落活性化対策②	高齢化が進む地域において、「匠のワザ」の伝承や、小規模農家の農作物の販売など高齢者がその技術を手軽に生かすことができ、集える場所の提供や地域に関わる仕組みづくりを提案ください。
地域交通支援対策	一部地域では交通手段が少なく、高齢者などの移動手段の確保が課題となっています。課題解決に向けた取り組みを提案ください。
交通安全見守り隊	子どもを交通事故や犯罪から守るため、通学路における子どもの保護・誘導を行うなど子どもの安全確保に関する事業を提案ください。
工芸みやげもの開発	国民文化祭京都 2011 の開催を視野に、「ものづくりのまち南丹市」ならではの「ほんまもんセット」の企画開発を提案ください。
定住促進のためのネットワーク組織	過疎地域への定住希望者に対し、情報を提供する組織の設置やその仕組みの構築を提案ください。
南丹市6次産業倶楽部の創設	地域農林産物の生産者（1次産業者）と加工実施者（2次産業者）と流通・販売実施者（3次産業者）とのマッチングを通じて、新たな産業（6次産業倶楽部など）の創設を提案ください。
食の安心・安全活動	親子における一連の農作業体験活動を通じて、食の安全性、食育、環境に関することなど、現在の食をとりまく社会の現状を考える活動を提案ください。

※上記のテーマは、平成 22 年度提案・実施事業に設定したものです。来年度以降、一部変更することがあります。



# 地上デジタル放送対応状況 に関するアンケート結果

情報整備  
シリーズ  
-11-

2011年7月24日までに  
アナログ放送は終了します。  
それ以降、  
アナログテレビについては、  
地上デジタルチューナーなどを  
取り付けなければ  
視聴できなくなります。



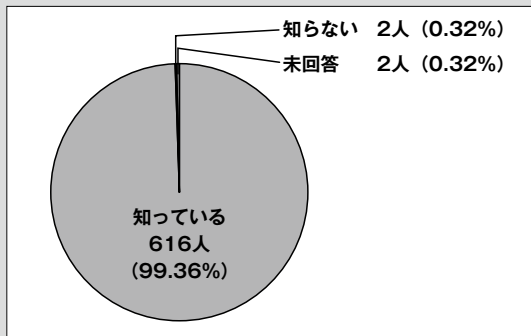
南丹市では、皆様のご家庭の地上デジタル放送（以下、地デジ）対応状況を調査するため、1,400世帯に対してアンケートを実施しました。ここでは主な問いと回答を紹介しますので、参考にさせていただき、地デジ化へのご準備をお願いします。

**調査対象：**無作為に抽出した1,400世帯（世帯主宛、各町ごとに350世帯）

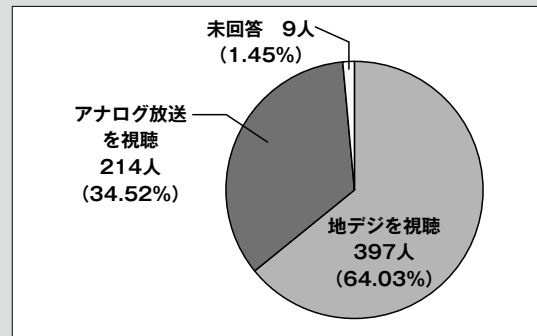
**調査期間：**平成22年7月1日～平成22年7月31日

**回収率：**620/1,400（44.29%）

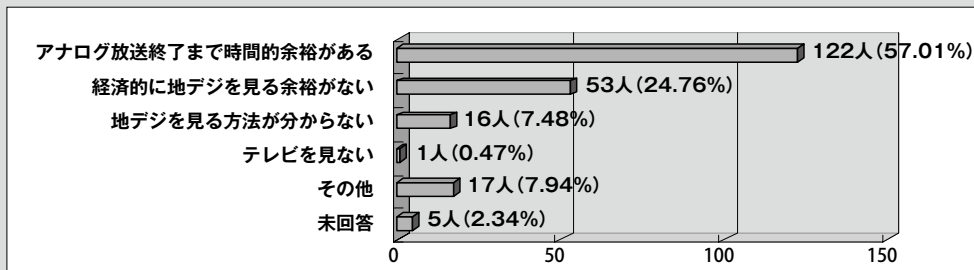
**問** 2011年7月24日までに地上アナログ放送が終了することをご存知ですか？



**問** ご家庭で地デジをご覧になっていますか？



**問** 現在、地デジをご覧になっていない理由をお聞かせください。



©日本民間放送連盟 2009

## アンケートの結果

時間的余裕があると答えた地デジ対応予定の方やすでに対応済みの方が84%でした。一方、「地デジを見る方法が分からない」、「経済的に地デジを見る余裕がない」という方が11%おられました。

### ☆経済的理由で地デジに対応できないという方

生活保護世帯などには総務省が簡易チューナーを無償給付しています。申込期間が平成22年12月28日までですので、お早めにご相談ください。

◇問い合わせ先 総務省地デジチューナー支援実施センター Tel0570-033840

### ☆地デジを見る方法が分からないという方

まず、次のいずれかの問い合わせ先にご相談ください。

◇問い合わせ先 デジサポ京都 Tel075-330-3030  
南丹市情報推進課 Tel0771-68-0019  
南丹市情報センター Tel0771-63-1777

## マイ箸・マイ茶碗づくりキャンペーン

南丹市では、NPO法人京都匠塾とタイアップし、マイ箸・マイ茶碗づくりキャンペーンを実施しています。自分で作ったお箸と茶碗を使って食べる料理は一段とおいしくなることでしょう。この機会に地域やグループで取り組んでみませんか。

**マイ箸**：朴（ほお）の木など地元産材を、本格的な木工具を使って削りだし、焼き付けペンで自分だけのマークを付けることもできます。拭き漆を施しお渡しします。

**マイ茶碗**：粘土を形成し、手回しロクロでオリジナル茶碗を作ります。好みに合わせて、そば猪口（ちょこ）や納豆茶碗なども作れます。作品は窯で焼き上げお渡しします。

- ◇キャンペーン期間 11月30日（火）まで
- ◇会場 基本的に指定された場所（公民館など）に出向き行います。
- ◇費用 無料（指導料、材料費など一切掛かりません）
- ◇その他 1グループ10人～30人を目安にお申し込みください。（10人以下、30人以上の場合はご相談ください）



★申込・問合せ先 NPO法人京都匠塾 TEL (0771) 68-1731

▶7月1日就任式で訓示する松田副市長



### 南丹市副市長に 松田清孝氏が就任

平成22年第2回南丹市議会6月定例会に提案した人事議案が6月24日に承認され、7月1日付けで松田清孝氏（園部町）が副市長に就任しました。任期は平成26年6月30日までの4年間です。

松田氏は昭和27年生まれ、58歳。昭和46年に八木町役場に奉職。人事秘書課長、総務課長を経て、南丹市発足後は、事業部長、企画管理部長、総務部長を務めました。

叙勲

## 旭日単光章

「地方自治の伸展に貢献」

故・上段 義継さん(日吉町)

昭和50年から4期16年間、日吉町議会議員として地方行政の発展に尽力されました。日吉町議会議長、副議長、経済建設常任委員会委員長、同和対策特別委員会委員長などを歴任。特に、同和対策を最重要課題として取り組み、同和問題解決の拠点となる隣保館や子どもたちの遊びと学習の場となる児童館・体育館の建設などにその手腕を発揮されました。また、日吉町がアーチェリー競技の会場となった京都国体では、日吉町実行委員会顧問・総務企画専門委員会委員長として、競技の普及など町が一体となった取り組みを進め、大会の成功に寄与されました。

ご冥福をお祈りします。

# 行政 トピックス

こころ一つに火点を目指す  
正確な操作1秒でも早く！

—消防操法大会—



▲ポンプ車操法の部優勝 八木支団チーム

7月18日、園部公園多目的運動場で、第21回京都府消防操法大会の代表選考を兼ねた第2回南丹市消防団操法大会を開催。小型ポンプ操法の部、ポンプ車操法の部に支団の代表1チームずつが出場し



▲小型ポンプ操法の部優勝 美山支団チーム

ました。絶好のコンディションの中、大きな号令ときびきびした動作でホースを延長し、動作の正確さや標的を倒すまでの時間などを競いました。

審査の結果、小型ポンプ操法の部は美山支団、ポンプ車操法の部は八木支団が優勝して府大会の出場権を獲得。府大会出場に向け益田武彦団長は「南丹市の代表として恥じることはないよう、力いっぱいこの操法を披露してきます」と決意を述べられました。

8月1日の府大会では、入賞はならなかったものの訓練の成果を十二分に発揮し健闘しました。また、八木支団指導員が腕用ポンプ操法を披露し、的が倒れた瞬間、大きな拍手と歓声が送られました。

## 五感で学び、伝える食教育

—男女共同参画フォーラム—

4回目となるフォーラム『キラリなたん』を6月27日、南丹市国際交流会館で開催しました。食育・料理研究家の坂本廣子さんが、テレビ番組「ひとりのできるもん」の制作にかかわった経験や、自身が主宰する料理教室で行う食教育などを基に講演。「子どもには6歳までにいろいろな体験をさせてほしい。子どもは体験することによって物事を判断する能力や自信を身に付ける。食教育は教えるのではなく、本物を体験させること」と話されました。



▲食教育の大切さを語る坂本さん



▲職員が拍手で見送る中、退場する岸上副市長

## 市が二つになるまちづくりを

—岸上副市長退任式—

岸上吉治副市長が任期満了により6月30日付けで退任しました。岸上副市長は旧八木町議会議長、八木町長を経て、平成18年7月からは助役および副市長として4年間にわたり、市政伸展に尽力しました。

退任式では市職員を前に「これからは合併という言葉は使わず、旧4町の垣根を取り払って南丹市が一つになるようなまちづくりをさらに進めてほしい」とあいさつ。労苦をねぎらう大きな拍手に送られながら、市庁舎を後にしました。



## 障がいへの理解の輪が広がれ

### ―発達障害支援講演会―

翻訳家ニキ・リンコさんの講演会を6月29日、南丹市国際交流会館で行い、保護者や教育、保健関係者などさまざまな分野から、120人あまりの参加がありました。ニキさんは幼いころから周囲との違和感を抱きながら育ち、30代になってアスペルガー症候群と診断されました。言われたことをそのまま受け取ってしまう特徴や、2つのことを同時にする事の難しさなど、ニキさんのさまざまなエピソードを通じて、発達障がいの方に対する「なぜ？」への理解につながりました。



▲分かりやすく楽しい対談形式の講演

## 知事と和い和いミーティング

### ―府民交流会 in 南丹―



▲あるポーズを取らせる設定で知事に指示を与える  
桑原さん（右から1人目）

「明日の京都」や「明日の南丹」の将来像を山田京都府知事や佐々木南丹市長、栗山亀岡市長、寺尾京丹波町長が熱く語る座談会が京都学園大学「光風館」で7月24日に開催され、およそ350人が参加されました。第2部では、南丹地域で活躍する住民代表4人が日々の活動を実演。子育て支援活動をされている桑原修子さん（八木町）が山田知事を相手に、働きかけで褒めた場合としかった場合の違いを実践され、知事の困惑した表情に会場が沸きました。

## みんなが高めよう人権意識

### ―南丹市人権教育講座―

人権教育講座を3つのテーマで開講しました。7月15日、園部公民館での第1回講座は、京都府家庭支援総合センター副所長の柴田長生さんが児童虐待について講演。「最近の虐待はネグレクト（養育拒否）の事例が増えている。虐待に気付いたら一人で抱え込まず、関係機関に相談し、情報を共有することが大切」と述べられました。また、第2回は障がいのある方の人権について、第3回は同和問題に起因した今日の結婚差別について、多くの方が学びました。



▲「子どもの権利は良好な親子、家族関係を築くことで守られる」と話す柴田さん

## 1年後やってくる文化祭典

### ―国民文化祭南丹市実行委員会―



▲多数の委員が出席して行われた委員会

来年京都で開催される国内最大の文化祭典、第26回国民文化祭に向けての南丹市実行委員会を7月30日、市役所で開催。各種団体の代表者など65人の委員が出席し、平成22年度事業計画、予算などが承認されました。今年には国民文化祭プレ大会を10月30日、31日に開催。市内に残る町家をお借りし、一軒ごとに異なるテーマでの工芸作品の展示や食品加工グループによる販売などを予定しています。国民文化祭の成功に向け気運を盛り上げていきましょう。

お元気ですか?  
栄養士です。



## 今からできる食育

### 乳幼児期からの「食べる」習慣で生活習慣病予防

『食育』という言葉が最近よく耳にしませんか? 『食育』は、とても歴史があり明治31年から使われている言葉です。平成17年に、食育基本法、翌年には食育基本計画が策定され、現在では、強力に食育が推進されています。なぜ今、食育がクローズアップされているのでしょうか? 変化してきた食生活をチェックしてみましょう!

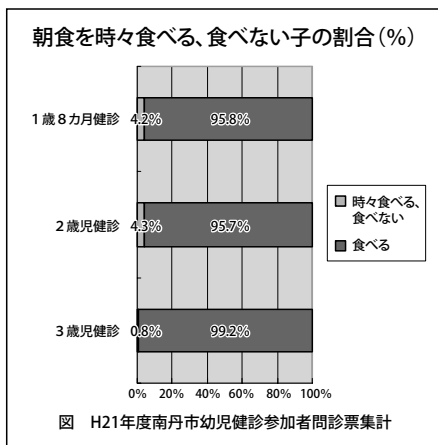
- テレビ・インターネット・携帯電話の普及により、多様な情報が得られる反面、自分に必要な正しい食情報が判断しにくくなってきた。
- 24時間、自分の食べたい時に好きなものが食べられるようになり、生活リズムが不規則になってきた。
- 家族で食事をする機会が減り孤食(一人で食事をすること)が増えてきた。

時代とともに食のスタイルが変化しています。最近注目されている内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)も時代とともに変化してきた食生活が大きな原因の一つです。予防や改善のためにも、食事や生活習慣の見直しはとても重要です。

### 食べていますか? 朝ごはん!

このたび、内閣府から「食育の現状と意識に関する調査」(平成21年12月)の結果が出されました。朝食の頻度について見てみると、朝食を「ほとんど毎日食べる」人の割合は85.6%でした。年代別・性別に見ると、「ほとんど毎日食べる」人の割合は、60歳代男性、70歳以上女性で高く、「ほとんど食べない」人の割合は、20歳

代男性、30歳代男性で高い結果でした。  
また、昨年度南丹市の乳幼児健診参加者の問診票から、朝食の頻度について集計をした結果は、左図のとおりです。



食育基本計画での子どもの欠食率は、0%が目標です。南丹市も子どもの朝食欠食率が0%になるよう、取り組んでいます。一日のスタートは朝食からです。子どものころからの食生活習慣は、今後の大きな基盤になります。乳幼児期から食べる習慣を定着させる事が、成人期の朝食の摂取頻度を改善させる鍵かもしれません。

### 南丹市食生活改善推進員をご存知ですか?

食生活改善推進員は、地域に根ざした食育活動を推進していま

す。平成21年度には、合併後初めて養成講座を実施し、31人の新会員を迎えました。現在では、169人の会員が、「おやこの食育料理教室」「男性のための料理教室」「生活習慣病予防のための料理教室」「高齢者の低栄養予防教室」など、調理実習を中心とした教室を各地域で行っています。「食べ物を選択する」「調理法を知る」「健康を考える」食育に欠かせない内容が盛りだくさんで、楽しく参加できます。このような教室は「お知らせなんたん」を通じて案内しますので、ぜひご参加ください。

9月は食生活改善普及月間です。食欲の秋も目前!あなたにできる食育を何か始めてみませんか?



▲平成21年度食生活改善推進員養成講座グループワークの様子

## 「地域の人とのかかわりを通して」

『地域ふれあいサロン』の取り組みから

この取り組みは、子どもたちが中心になって計画し、進めていきます。お年寄りの方や常日頃は交流の機会がほとんどない方も多く来られるので、どんなことをどのようなしたら喜んでもらえるだろうかと思いを巡らせ、相手のことを考えながら計画を立てました。当日は、学習発表をした後、肩たたきなどの直接のふれあいや、かるたやこま回し、おはじきなど

「次」に肩たたきをしまし「もうちょっと強くしてくれるか」「気持ちよくなったわ。」「ありがとう」昨年度から平屋小学校が始めた『地域ふれあいサロン』の1コマです。学年ごとに校区内の公民館などへ出かけ、学習の成果を発表したり、来ていただいた方と一緒にゲームや遊び、話をしたりして交流をしています。今年度は4地域で行いました。『地域ふれあいサロン』は、「学校からちょっと地域に発信していこう」「いろいろな人との交流の機会を増やそう」との考えのもと、「思いやりの心を持ち、実践する子どもの育成」というテーマで取り組んでいます。

の昔の遊びで交流を深めました。肩をたくたく強さや、声の掛け方など、子どもたちなりに考えて行動している様子がかがえました。そして、参加していただいた方からの「ありがとう」の言葉で、自分たちで考えて取り組んだことを認めてもらえた喜びを感じ、相手を思いやることの大切さを実感できたのではないかと考えます。

自分たちが地域の方々から大切に感じると同時に、子どもたちも地域の方々のことを知り、思いやりの気持ちを持って接するこの経験はとても大切なことだと考えています。今後さらに「思いやりの心を持ち、実践する子どもの育成」を目指し、校内での取り組みと併せて、地域の人とのかかわりを有効に活用して、本校の人権教育を推進していきます。



▶強さは大丈夫ですか？

(平屋小学校 人権教育主任

小寺 功彦)

### 環・境・市・民 ～感激！エコ発見～



市内で発見した感激のエコ活動を紹介します。

桜並木が連なる八木町大堰川の河川敷は子どもからお年寄りまで老若男女を問わず、多くの人々が訪れる憩いの場となっています。

とうとうと流れる大堰川を見ながら風に吹かれて歩いてみると、日ごろのストレスから解放され、とても豊かな気持ちになれます。

そんな癒しの空間を長年見守り続ける坂本義昭さん。堤防沿いのゴミ拾いや草刈り、樹木の剪定、水やり、落ち葉拾いなど、30年以上も前からボランティアで活動を続け、今年6月に京都府の「環境保全功労者表彰」を受賞されました。

### 今回のエココメント

坂本義昭さん

(八木町八木)



「小さいときからここに住んでいるので、川遊びを



したり、川下りを見たり、本当にたくさんさんの思い出があります。そんな場所ですから自分できれいにするのは当たり前のことだと思っちゃっています。いろいろなまちを見てきました。自分のまちは自分できれいにするというのはどこでも同じだと思います。ここで作業をしていると自分の運動にもなるし、来られた方に『いいところですよ』と喜んでもらえるのが嬉しくて、いつまでもやめられないです」

(環境課)

# 南丹市立図書館

中央図書館 TEL (0771) 68-0080  
八木図書室・日吉図書室・美山図書室  
(休館日:毎週月曜日・祝日)

http://library.intra.city.nantan.kyoto.jp/

# 図書館へようこそ!

No.24



イメージキャラクター「なびっと」

## 図書館でちよつと いっぷく

ゆったりと新聞・雑誌でもながめてみては…

週刊誌・月刊誌の情報はやはり新鮮です。国内外の最新情報から、ファッション、グルメまでタイムリーな話題を提供してくれます。『アエラ』『サライ』『一個人』『メンズ』『ノンノ』などは男性に人気の雑誌。また、『オレンジページ』『リーフ』『家庭画報』など年代別に女性向けの雑誌も取りそろえています。そのほか、『こども』などの児童雑誌や『すくすく子育て』など、さまざまな分野の情報も図書館

で入手できます。おしゃれに興味を持ち出す小中学生の女の子向け雑誌『ニコラ』は、人気のある雑誌です。どの雑誌も一定期間を過ぎたものは貸し出しも可能です。図書館・室によって蔵書している雑誌タイトルが異なりますので、お目当ての雑誌を事前にチェックしてみてください。外出されてちよつと疲れたら、休憩がてら雑誌のページをめくり「図書館でちよつといっぷく…」

### 新刊紹介



『サライ』  
毎月10日発行  
小学館

『サライ』は、「大人の生活誌」として発刊されて以来、シニア向け雑誌のパイオニアとして、高い支持を受けています。



『LEE』  
毎月7日発行  
集英社

20代後半からの女性を対象に、ファッション、美容、料理、インテリアなど暮らしを楽しむための内容が満載です。

### ※参考 (図)

◆ ○○○○サイトに登録ありがとうございます ◆	
個人識別コード	あなたの登録プロバイダーは ○○○○ (0000.00.00) です。 あなたのメールアドレスは xxxxxxxx@xxx.jp です。 あなたのPC個人識別コード xxxxxxxx を登録しました。
ご利用料金	2ヵ月間の無料体験期間です。 ※登録日より90日以内は銀行キャンペーン参加とさせていただきます。 4月以降に入会の場合は銀行キャンペーン対象外の10万円がお振込み金額となります。
振込先	〇〇銀行 〇〇〇〇支店 普通預金 口座番号 1234567 〇〇 〇〇
支払期間	登録日より1ヵ月以内 ※あなたの平日が銀行休業日の場合は翌銀行営業日までといたします。 ※支払期間内にお振込み下さい。 また、支払い期限を過ぎても入金確認が出せない場合、未払い状態が続きますと登録メールアドレスを各プロバイダー会社に対し法的な手段を講じて 情報開示を要することにより以下の情報を把握することが出来ます。
ご注意	◆契約者名 ◆契約者住所 ◆契約者電話番号 ◆契約者勤務先 ◆契約者家族構成 ◆契約者クレジット ◆契約者信用情報 ◆契約者銀行口座 その他契約申し込み時に記入した事項全て。 ※支払期限を過ぎてもお振込みからの入金が確認されない場合は利用料金に加えて延滞手数料が別途加算されます。 ※上、お客様の登録情報、アクセス履歴を基に身に覚えのないような調査依頼を行います。お客様の個人情報を基に第三者等による連絡依頼が行われます。 ※、その際にお支払、調査費用、交通費も全てお客様の負担となりますのでご了承ください。 ※あなたの申込みID番号は xxxxxxxx です。 お振込みの際はあなたの申込みID番号を振込み人名義としてください。 これ以外の名義でお振込みされた場合は入金確認ができないうまくもお間違えの無いようお願いします。

## 暮らしとホッと

—第9回—  
消費生活情報

### ワンクリック料金請求に「用心」!

パソコンや携帯電話のメールアドレスを利用して、架空またはアクセスしただけで多額の利用料金を請求されるという相談が急増しています。特に最近では、「自分が携帯電話からインターネットに接続し、いろいろなサイトを見ているうちに、突然アダルトサイトにつながり、料金請求

の表示になる」というパターンが増えていきます。もし、参考(図)のような料金請求を受けた場合は、次の点に注意して落ち着いて対応しましょう。

- ① 利用規約がない場合は無視する。
- ② 利用規約がある場合は、よく読んで確認する。
- ③ 電子消費者契約法では、事業者は、消費者に対して申込内容を再度確認させるための画面を用意する必要があります。確認措置が無い場合は、申し込みの無効を主張できる。
- ④ 前記②・③に「同意」した上でサービスを利用した場合は、支払い義務が発生するおそれがある。
- ⑤ 悪質なものに対しては、氏名、住所、電話番号などの個人情報に絶対に伝えない。

最近子どもが携帯電話やゲームなどを利用する機会も増え、保護者の知らないところで被害が発生していることもあります。ご家庭でもこのような被害の現状について話し合い、被害に遭わないように注意しましょう!

(商工観光課)



町内に伝わる昔話などを語り継ぐ  
～かたりべの里クラブ～

平成14年6月、日吉町の朗読ボランティアの中から、町内に伝わる昔話などの「語り部」活動を志したメンバーにより「かたりべの里クラブ」が結成され、いろりを囲んで昔話をする活動が始まりました。日吉町郷土資料館にあるかやぶき民家（平成12年、日吉ダム周辺整備の一環として開設した、水没する天若集落にあった2軒のかやぶき民家を移築した野外展示施設）が活動拠点です。現在会員は5人。日吉町に伝わる物語、お祭り、行事のお話や、昔の暮らしの様子などを次世代に伝えるため、人形劇や伝承調理のボランティアと協力して、体験を通して楽しみながらの交流が行われています。

かやぶき民家の探検会



でこの原理「唐臼（からうす）」に興味津々の子ども

5月4日、かやぶき民家の探検会を郷土資料館で催されました。かやぶき民家の観察ポイントをクイズ形式で出題し、当時の暮らしぶりを説明。牛小屋を見て、牛をペットととらえる子どもに農作業に欠かせない動力としての役割を説明しておられました。

お知らせ

かたりべの里クラブでは、一緒に活動していただける方を募集しています。興味のある方は、南丹市社会福祉協議会日吉支所 TEL:(0771)72-0947までご連絡ください。

また、子ども会や地域行事に出向く、「出前語り部」も行います。お気軽にご相談ください。

かたりべの里クラブ  
代表 久野克己さん  
(連絡は社協日吉支所まで)



紙芝居を使って説明するメンバー

8月21日には、郷土資料館開館10周年記念行事として「あの戦争と子どもたち」をテーマに、紙芝居などを使って学童集団疎開のお話し会を開催。さらに、当時の食事情を体験できるよう、昔の食文化を次世代へ伝える活動を行うボランティアグループ「さくらんぼ」



▲「すいとん」を味わい当時から考え合う参加者

の協力で「すいとん」の試食も行われました。  
核家族化が進み、家庭では日本や地域がどのように移り変わってきたかを語り継ぐ機会が少なくなった今日、語り部として奮闘中の皆さんです。

南丹市商工会主催のそのべ夏まつりが宮町シンボルロード周辺で行われ、パレードや七夕まつりなどを楽しむ人でにぎわいました。夏といえば昭和40年から続く園部小学校鼓笛隊のパレード。5・6年生140人は演奏する楽器などを5月に決定し、練習を積み重ね、夏休み中にも3日間全体練習を行いました。この日は同小児童愛唱歌「みんななかよし」や嵐の「<sup>ハピネス</sup>Happiness」などの曲を鼓笛演奏や華麗な旗さばきで披露。集まった多くの観客から大きな拍手が送られました。今年は華やかな京都府警察音楽隊のパレードも実施されました。



▲真剣な表情でパレードする園部小児童

「伝統の鼓笛隊がまつりを盛り上げる」

7/31 2010南丹そのべ夏まつり

みんなのひろば  
まちの話題を紹介します



▲橋面に完成したあびす様の巨大絵と参加した子どもたち

府道と泉宮脇線のバイパス工事に合わせ、新たな観光交流の拠点となる施設が完成し、記念式典とオープニングイベントを開催。式典では、関係者がテープカットや広場の愛称『美山あびす屋』の看板の除幕を行いました。午後からは実行委員会主催のオープニングイベントが行われ、建設中の和泉大橋の橋面に縦5m、横26mの絵を描きました。強い日差しが照りつける中、およそ50人の子どもたちが2時間かけて完成。出来上がった絵と一緒に記念写真を撮りました。また、和太鼓や北桑田高校吹奏楽部の演奏などが会場を盛り上げ、広場の完成を祝いました。

「美山の味楽しみながらひとやすみ」

7/17 南丹市美山和泉交差点観光交流広場 オープン記念式典・オープニングイベント



▲テープカットをする佐々木市長ら（左から3人目）

「猛暑・ゆかた・花火 夏きたる」

7/18 ひよし夏祭り2010



▲金魚はどこにいるかな

ひよし夏祭り2010がスプリングスひよしで開催。毎年大人気の大堰川漁業協同組合主催のちびっこ魚つかみ取り大会には市内外から多くの親子連れが集まりました。池に3,000匹の金魚と50匹のうなぎが放され、子どもたちは笛の合図で一斉に水に入って、必死に魚を追いかけました。

夜には市内で今夏初となる花火が打ち上げられ、周辺で見る1,000発の花火の迫力に大勢の観客が酔いしれ、あちこちから拍手と歓声が上がりました。

## 「日吉・胡麻 両駅の歴史を祝う」

(8/14 日吉駅《旧殿田駅》、胡麻駅開業100周年記念式典)

日吉駅、胡麻駅の開業100周年を祝う記念式典が日吉町生涯学習センター広場で開催(日吉町地域自治振興会、各駅100周年記念事業実行委員会主催)。小林敏雄自治振興会長の式辞に続き、西野公庸さんの寄贈により設置したD51型蒸気機関車の動輪モニユメントの除幕を行い、園部以北の複線化に向けた活動の決議がされました。また、胡麻駅は8月14日、日吉駅は22日に駅周辺で記念事業が行われ多くの人でにぎわいました。



▲モニユメントの除幕を行う関係者 (JR 鍼灸大学駅前広場)

## 「おいしくなあれグリーンパワー!」

(7/16 八木中央幼児学園お泊り保育)



▲野菜たっぷりのカレーの出来上がり

八木中央幼児学園のお泊り保育が行われ、5歳児46人が参加。園児はまず夕食のカレーづくりに挑戦しました。園庭で育てたオクラ、ゴーヤ、かぼちゃなどの野菜を慣れない手つきで調理。火にかけて鍋に向かって「グリーンパワー!」と叫んでおいしくなるよう気持ちを込めました。この日を楽しみにしていた子どもたちは笑顔いっぱい「今日は仮面ライダーのパジャマ持ってきたんやで」と自慢げに話してくれる子もいました。夜はキャンプファイヤーと花火で友だちと過ごす楽しい夜を満喫しました。

日吉町郷土資料館でミニSL運転会が行われ、家族連れら200人あまりが、かやぶき民家の前を列車が走る懐かしい雰囲気を楽しみました。このイベントは、京都一綾部間開通100周年を記念して文化博物館・郷土資料館で開催している展示会関連イベントの一つ。南丹市立文化博物館では京都一園部間、日吉町郷土資料館では園部一綾部間を中心に、丹波地域の鉄道の歴史を振り返り、建設から現在までを模型や写真など多様な資料で紹介しています。9月26日(日)まで開催中です。

## 「100周年記念特別展 9月26日まで」

(8/1 鉄道く果てしなく続く路〜夏季特別展・ミニSL運転会)



▲帽子もバッチリ、子ども運転士

## 「かわいいエコバックでエコ生活」

(7/26 美山かやぶき美術館夏休み体験講座)



▲どんなデザインにしようかな

美山かやぶき美術館で27人の小学生が布製のエコバック作りに挑戦。この体験講座は、織物造形作家の上田恭子さんとガラス作家の山本佳子さんを講師として実施しました。薄いゴム製のシートをハートや鳥、魚などの形に切り取ってスタンプを作り、顔料を付けてぺたぺたとバックに模様を描きました。「これ何に見える?」「ここに名前を書くわ!」と友だちと話しながらオリジナルエコバックが完成。昼食は食生活改善推進員さん手作りの夏野菜たっぷり「とびつきりカレー」をみんなで食べました。

# なんたんミュージアム -22-

## ―南丹市立摩気小学校―

※担任の先生、担当教科の先生の  
講評を掲載しています。

「ロケット」

小寺 翔輝さん（1年）



▲宇宙を旅する大きなロケットです。  
前にはブランコもついていて、いつでも遊べます。

「大きな木」

関 直人さん（3年）



▶天に向かってぐんぐん伸びる木です。その木を見上げながらブランコで遊ぶのは楽しいです。

「いっぱい、ゆめいっぱい」

片山 森尊さん（2年）



▶不思議なたまごを割ってみると、大きなモンスターハンターとポケモンが出てきました。

「夕顔」

小寺 慧弥さん（6年）



▶文字の大きさを確かめながら、調和のとれた字を書くことができました。

### 編集後記

園部小学校鼓笛隊のパレードはいつから始まったの？誌面では5文字ですが大勢の方々に記憶をたどってもらいました。市役所職員から当時の担任の先生を調べてもらい、先生も当時の資料を調べてくださいました。皆さんのご協力に感謝。京都新聞の当時の記事には、自動車ショーも同時開催とあり、積み重ねられてきた歴史を感じました。

(Ya)



市の花 さくら 市の木 ふな 市の鳥 オオルリ  
森・里・街がきらめくふるさと 南丹市 なんたんし



●総人口：34,685人(+9)  
(男：16,670人・女：18,015人)  
(+9) (±0)  
●世帯数：13,628世帯(+13)  
(平成22年9月1日現在)  
( )内は前月比



●八木町  
しおがい 塩貝 莉空くん（1歳7か月）  
**わが家のアイドル**

「いつも、おいしい野菜ありがとう  
じいちゃん、ばあちゃん大好き」

(じいちゃん、ばあちゃんへ)

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります) 詳しくは情報推進課広報広聴係まで

広報 **なんたん**

編集・発行：南丹市役所 企画管理部情報推進課  
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0019 FAX:0771-63-0653  
URL:http://www.city.nantan.kyoto.jp  
e-mail:jouhou-s@city.nantan.kyoto.jp



本紙は環境への配慮から、水なし印刷、森林認証紙、ソイインキ(大豆油)を採用しています。